

令和 2 年 1 月 24 日

名古屋教育医療記者会 各位

名古屋市立大学大学院医学研究科

精神・認知・行動医学分野

教授 明智 龍男（電話：052-853-8271）

名古屋市立大学医学・病院管理部教育研究課

課長 井上 誠（電話：052-853-8076）

（名古屋市政記者クラブと同時発表）

名古屋市立大学にて「慢性疼痛の脳科学を臨床に活かす」を開催します

名古屋市立大学病院では、慢性疼痛診療に関心のあるすべての医療人、医療系学生に向けた「慢性疼痛の脳科学を臨床に活かす」と題してシンポジウムを開催いたします。

つきましては、本講演会を広く知っていただくためにご案内申し上げますとともに、あわせて是非ご取材いただきますよう、よろしくお願いいたします。

記

- 日時 令和 2 年 2 月 11 日（火・祝） 14 時 00 分 ～17 時 30 分
- 場所 J P タワー名古屋 5 階名古屋市立大学ミッドタウン名駅サテライト
- 対象者 医師、看護師、理学療法士、薬剤師、臨床心理士など慢性疼痛診療に関心のあるすべての医療人、医療系学生
- 内容
 - 【講義】
慢性疼痛へのアクセプタンス&コミットメント・セラピー（ACT）
基礎脳科学から目指す慢性疼痛のトランスレーション研究
 - 【パネルディスカッション】
進行 名古屋市立大学病院 いたみセンター長 杉浦 健之
パネリスト 東京慈恵会医科大学 神経科学研究部/痛み脳科学センター
加藤 総夫
名古屋市立大学大学院薬学研究科神経薬理学 准教授
大澤 匡弘
名古屋市立大学病院 いたみセンター副センター長
近藤 真前
名古屋市立大学病院 精神・認知・行動医学 臨床心理士
酒井 美枝
コメンテーター 日本大学医学部 麻酔科学 准教授 加藤 実

5 費用・定員・申込方法

入場無料、定員 70 名、事前予約制、先着順

参加ご希望の方は、氏名、所属、連絡先を事務局まで E-mail でお送りください。

事務局：名古屋市立大学教育研究課学術研究推進係

E-mail:manseit@sec.nagoya-cu.ac.jp

慢性疼痛の脳科学を臨床に活かす

日時：令和2年2月11日火曜日 14:00~17:30

会場：JPタワー名古屋5階
名古屋市立大学ミッドタウン名駅サテライト

住所：名古屋市中村区名駅一丁目1番1号

アクセス：JR名古屋駅直結



慢性疼痛は我が国の成人の15-40%にみられ、社会的損失が大きい疾患として知られています。また慢性疼痛の治療に際しては、心理社会的要因を考慮した集学的治療が必要であり、脳科学との深いつながりがあることが明らかになっています。

14:00~ 開会の挨拶 名古屋市立大学 学長 郡 健二郎

14:10~ 講演1 慢性疼痛へのアクセプタンス&コミットメント・セラピー (ACT)
名古屋市立大学大学院 精神・認知・行動医学 臨床心理士 酒井 美枝

14:40~ 講演2 基礎脳科学から目指す慢性疼痛のトランスレーション研究
東京慈恵会医科大学 神経科学研究部/痛み脳科学センター 加藤 総夫
—休憩—

15:50~ パネルディスカッション
進行：名古屋市立大学病院 いたみセンター長 杉浦 健之
パネリスト：東京慈恵会医科大学 神経科学研究部/痛み脳科学センター 加藤 総夫
名古屋市立大学大学院 薬学研究科神経薬理学 准教授 大澤 匡弘
名古屋市立大学病院 いたみセンター副センター長 近藤 真前
名古屋市立大学大学院 精神・認知・行動医学 臨床心理士 酒井 美枝
<<<有識者指定発言予定>>>

17:10~ 閉会の挨拶 名古屋市 病院局長 大原 弘隆

総合司会：名古屋市立大学 麻酔科学・集中治療医学 教授 祖父江 和哉

入場無料
定員70名
事前予約制
先着順

医師、看護師、理学療法士、薬剤師、臨床心理士など慢性疼痛診療に関心のあるすべての医療人・医療系学生を対象としています。参加ご希望の方は、氏名・所属・連絡先を事務局までお送りください。

メール: manseit@sec.nagoya-cu.ac.jp